



audio-technica



MCカートリッジ

- 本社所在地：福井県越前市
- 事業概要：電気音響機器（マイクロホン・ヘッドホン・カートリッジ・スピーカー等）の設計・開発・製造
- 常時使用する従業員：210名
（2026年4月時点）
- 現在の売上高：72億円
（2026年3月期）
- 法人番号：7210001011811
- Web：https://www.audio-technica.fukui.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
松下 和雄

お客様に届ける音にこだわり、技術革新を続ける

高品質で独創的な音響機器の製造を通じ、世界中に豊かな音体験を提供します。成長を通じて、品質保証体制を極限まで高めた世界水準の製品群を届け、社会に貢献します。さらに、地域社会との共創を深化させ、社員の成長・待遇改善と労働環境の整備、カーボンニュートラル活動に積極的に投資してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上高100億円を目指し、レコードピックアップカートリッジ、ターンテーブルなどアナログ技術をさらに磨き、高周波や赤外線技術による高度な会議システム及びカラオケマイクシステムを世界中のお客様に提供し続けてまいります。
（年率約4%の持続的成長を目指します。）

課題

- ・**精密技術の伝承と省人化**：主力である高品位MCカートリッジ等の精密な音響技術の伝承と、ロボット導入による生産ラインの高度化・効率化。
- ・**自動化と品質の両立**：ミクロン単位の手作業を伴う精密組立技術の伝承と省人化・自動化の両立、および開発インフラの高度化。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

精密音響技術の伝承と生産体制増強

- 【生産力】製造ロボットや自社製作設備の導入による精密組立工程の自動化・省力化の徹底追求。
- 【差別化】日本有数の音響評価インフラ（無響室・電波暗室等）による圧倒的品質と独自「ながら聴き」新市場創出。
- 【地域・採用】地元の高校生採用を強化し、持続可能な地域密着体制を整備。

実施体制

- 【推進体制】組織改革を目的としたプロジェクト体制で全社横断の生産革新・技術伝承を推進。
- 【グローバル展開】グローバルブランドカ・海外販売網を活用し世界市場へ展開。
- 【人材・地域】多能工育成と女性・シニアが活躍できる職場環境を整備し、持続可能な地域密着体制を構築。

100億企業成長へのロードマップ

100億企業成長へのロードマップ（2026年～2035年）

■ 基礎期：生産自動化・省人化 [2026年～2027年]

自社試作設備・ロボットの導入によるマイクロホンユニット等の精密組立ラインの自動化・量産体制強化。

■ 技術への投資（最優先課題） [2026年～継続]

日本屈指の音響評価施設（無響室・電波暗室・音響ホール・試聴室）のフル活用による開発DX、独自精密音響技術の次世代伝承。

■ 第1期：設備音響・スマート化 [2027年～2029年]

オンライン会議対応シーリングスピーカー、シーリングマイク等、設備音響市場でシェア拡大。若手・地元高校生採用の推進。

■ 第2期：新市場開拓&地域連携 [2030年～2032年]

生活に寄り添う音製品の新市場開拓。若手・地元高校生採用の推進。

■ 第3期：グローバル&CN推進 [2033年～2035年]

グローバル環境規制対応、世界各地域での圧倒的シェア獲得、売上高100億円達成。

2035年3月期に向けた売上計画（億円）

